

さんびき ししまい

# 三匹の獅子舞



- 種別  
無形民俗文化財
- 指定年月日  
昭和53年2月20日
- 開催場所  
戸ヶ崎香取神社  
(戸ヶ崎2-38-1)
- 開催日  
7月第1日曜日を  
最終日とした3日間

今から400年以上前の天正<sup>てんしょう</sup>10年(1582年)に当時の領主が村人に凶事が続いたことを憂い、鰐口を寄進、獅子舞を奉納し、村人の長寿、疫病退散、<sup>えきびょうたいさん</sup>五穀豊穰<sup>ごこくほうじょう</sup>を願ったことが始まりと伝えられています。

神前に舞庭<sup>まいにわ</sup>を作り、大獅子<sup>おお</sup>・中獅子<sup>なか</sup>・女獅子<sup>め</sup>の頭<sup>かしら</sup>をつけ、腰につけた太鼓を打ちながら、笛の音によって演舞します。舞は女獅子隠し<sup>めじしかく</sup>、笹廻り<sup>ささまわ</sup>、飛び恰好<sup>と かつこう</sup>、弓懸り<sup>ゆみがか</sup>、橋渡り<sup>はしわた</sup>、帰り恰好<sup>かえ がっこう</sup>、綱渡り<sup>つなわた</sup>、鳥覗き<sup>からすのぞ</sup>、太刀懸り<sup>たちがか</sup>の九庭あります。